

介護現場における生産性向上の取組について（茨城県）

1 ロボット介護機器普及支援事業

介護現場へのロボット介護機器の導入による介護従事者の負担軽減や雇用環境の改善により、働きやすい介護の職場づくりの推進などの雇用管理改善方策等を普及することを目的とする。

2 ICT 導入支援事業

介護現場で使用する介護ソフトウェアやタブレット端末等の ICT 機器の導入により、介護記録・情報共有・報酬請求等の業務の効率化を図り、生産性を向上させることで、職場環境を改善することや人材確保を目的とする。

3 介護人材確保育成事業（チャレンジ・シニア参入促進事業）

概ね 60 歳以上の高齢者を介護の知識や経験を必要としない業務を担う「介護助手」として介護施設に派遣し、人材の確保と介護専門職員の負担軽減を図る。

【参考リンク先】

- ・ロボット介護機器と ICT 機器の導入支援事業について

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chofuku/shisetsu/kaigorobottodounyuusiennziguou.html>

- ・チャレンジ・シニア参入促進事業

https://fukushi.pref.ibaraki.jp/fukushi/fuku_challenge/

【担当部署】

- ・ロボット介護機器普及支援事業、ICT 導入支援事業

福祉部長寿福祉課介護保険指導・監査グループ

TEL：029-301-3343

- ・チャレンジ・シニア参入促進事業

福祉部福祉政策課福祉人材確保室

TEL：029-301-3197